

永田寛定 ひろあき スペイン文學翻譯家。明治十八年一月一日東京生まれ、
昭和四十八年八月一日歿（二六五―一九七三）。明治四十一年東京外國醫學
校西語科卒。同校教授。

譯書、ガラスゴ・イバンニエス作『死刑をくぐる女』（大正十二年二月）
十日新潮社「海外文學新選」、マルテイナーネス・シエルラ作『子守
唄』（昭和二年十二月）千五百岩波書店「岩波文庫」、ヅナグンテ
作『作り上げた利害』（昭和二年一月五日岩波書店「岩波文庫」）、
ホセ・エリエガライ作『悲しき嫁』（昭和二年一月十五日岩波書店
「岩波文庫」）、ズナグンテ他作『近代戯曲集』（共譯、昭和四年十
一月二十八日新潮社「世界文學全集」）、ガラスゴ・イバンニエス作
『地中海（外）二篇』（昭和五年十二月十日新潮社「第一輯・世界文
學全集」）、ホルヘ・ズイレイ・レンヅツク稿『日本國の南米から送
りた最初の使節』（永田寛貞名、昭和六年八月稿、東京秘書館）、
フェルナンドス・フロレス作『南歐篇』（昭和七年九月五日改定社
「世界ユーロピア全集」）、ガラスゴ・イバンニエス作『血と砂』（昭
和十四年十一月二十九日岩波書店「岩波文庫」）、ピーオ・バルローン
作『水車小屋の兄妹』（昭和十五年六月十日弘文堂書房「世界文庫」）、
岡村修清院の鳩 （高橋正武）（昭和十六年二月十日河出書房）、
セルジニナス作『ドン・キホーテ』全五冊（上篇一・昭和二十二年八
月二十日、上篇二・二十四年八月十五日、上篇三・二十六年一月二十
日、續篇一・二十八年七月五日、續篇二・五十年五月十六日岩波書店
「岩波文庫」）、ローズ・デ・シーガ作『上ねぎ判官』（大正十一年一
篇）（昭和二十二年八月二十日日本評論社「世界古典文庫」）、『世

『戀愛詩集』(共譯・樋口大學選、昭

和)二十六年七月十五日初田書店「世界

戀愛文學名作選」(、セルバンテス作

コドン・キホーテ」(昭和二十六年十

月十五日岩波書店「岩波少年文庫」)、

グネセント・グラスゴ・イバーニエス

作『血と砂』(昭和二十六年十一月二十日(愛書房)、フエルチンデ

ス・フロレーレス作『セウの柱』(昭和二十七年五月五日河出書房「こ

十世紀文學選集」)、グラスゴ・イバーニエス作『われらの海』全一

冊(上巻・昭和二十年六月二十日、下巻七月五日岩波書店「岩波文

庫」)等。

著書『太平洋の發見』(昭和十七年十一月二十日(組出版部)等。

